



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年10月31日

上場会社名 富士紡ホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3104 URL <https://www.fujibo.co.jp/>
 代表者（役職名）取締役社長（氏名）井上 雅偉
 問合せ先責任者（役職名）取締役（氏名）佐々木 辰也 TEL 03-3665-7612
 半期報告書提出予定日 2025年11月13日 配当支払開始予定日 2025年12月8日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 アナリスト・機関投資家向け

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	22,528	7.0	3,771	26.0	3,904	27.1	2,730	30.3
2025年3月期中間期	21,060	23.2	2,992	226.1	3,071	143.4	2,095	133.6

（注）包括利益 2026年3月期中間期 3,118百万円（ 37.9%） 2025年3月期中間期 2,260百万円（ 64.6%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	241.74	—
2025年3月期中間期	184.79	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	68,783	49,311	71.7
2025年3月期	66,608	47,460	71.3

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 49,310百万円 2025年3月期 47,459百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	60.00	—	70.00	130.00
2026年3月期	—	75.00	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	85.00	160.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,400	5.8	7,500	15.8	7,700	15.4	5,000	11.7	443.42

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期中間期	11,354,000株	2025年3月期	11,354,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	98,151株	2025年3月期	10,733株
③ 期中平均株式数(中間期)	2026年3月期中間期	11,295,814株	2025年3月期中間期	11,340,849株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当中間連結会計期間に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は、2025年11月7日(金)にアナリスト・機関投資家向けにオンライン決算説明会を開催する予定です。開催後、決算説明の概要を録画した動画及び説明会資料を当社ホームページにて公開する予定です。

○添付資料の目次

1. 当中間連結会計期間に関する定性的情報	2
（1）経営成績に関する説明	2
（2）財政状態に関する説明	3
（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
（1）中間連結貸借対照表	4
（2）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
（3）中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
（4）中間連結財務諸表に関する注記事項	9
（継続企業の前提に関する注記）	9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	9
（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）	9
（セグメント情報等）	9

1. 当中間連結会計期間に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善が足踏み状態となったものの、雇用・所得環境の改善を背景に個人消費が持ち直し傾向を示し、緩やかな回復基調となりました。一方で、米国の通商政策や各地の紛争の影響、資源価格の動向など、企業収益や物価に対する不安定要因が多く、依然として不透明な状況が続いています。

このような経営環境の下、当社グループは中期経営計画『増強21-25』の基本戦略に基づき、当期を最終年度として「事業ポートフォリオの改革」と「各事業の増強」に取り組んでいます。事業の柱である研磨材事業は、AI関連向け先端半導体の需要増加を背景に受注が堅調に推移しました。また、化学工業品事業も、半導体を含む電子材料市場の需要を中心に、受注が堅調に推移しました。生活衣料事業では、国内のネット販売の好調や日本製品の海外評価が高まる一方で、人件費やコスト高、円安の影響で厳しい状況にあり、店頭販売は消費者の節約志向で苦戦しました。

この結果、当中間連結会計期間の売上高は前年同期比1,468百万円(7.0%)増収の22,528百万円となり、営業利益は778百万円(26.0%)増益の3,771百万円、経常利益は832百万円(27.1%)増益の3,904百万円となりました。これに特別損益、法人税等を加減した結果、親会社株主に帰属する中間純利益は、前年同期比634百万円(30.3%)増益の2,730百万円となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

①研磨材事業

世界の半導体市場は、2025年度も継続的な成長が見込まれております。このような中、超精密加工用研磨材の半導体デバイス用途(CMP)は、生成AIの普及によるHBMなどのメモリや最先端ロジック向け半導体の需要の増加とそれに伴う一部ユーザーの在庫水準の引き上げにより受注が増加しました。シリコンウエハー用途は、汎用品用途の需要は弱いものの、先端品用途の需要は堅調で一定水準の売上を確保しました。ハードディスク用途はデータセンター向けの需要が戻り、液晶ガラス用途では中国の補助金政策によりパネル需要が好調に推移し、受注が増加しました。

この結果、売上高は前年同期比1,535百万円(16.7%)増収の10,744百万円となり、営業利益は792百万円(37.3%)増益の2,918百万円となりました。

②化学工業品事業

機能性材料、医薬中間体および農薬中間体などの受託製造は、半導体を含む電子材料市場の拡大が継続していることに加え、在庫調整が続いていた農薬市況においても緩やかな回復傾向が見られ、受注が堅調に推移しました。また、柳井・武生両工場の稼働も総じて高い水準を維持しました。

この結果、売上高は前年同期比391百万円(5.7%)増収の7,212百万円となり、営業利益は131百万円(22.1%)増益の726百万円となりました。

③生活衣料事業

繊維素材は、人件費の増加やコストの高騰、円安の影響を受け、厳しい環境が続いています。一方、繊維製品においては、ネット販売では、SNSや検索広告などのWebマーケティングを強化し、ネット限定製品の拡充を図ることで効果的な商品訴求を図りました。また、高品質な日本製品が評価され、海外向けの販売は好調に推移しました。しかし、量販店向けの販売は売場縮小に加え猛暑による来店客数の減少や消費者の買い控えの影響を受けました。

この結果、売上高は前年同期比398百万円(11.2%)減収の3,146百万円となり、営業利益は97百万円(30.5%)減益の223百万円となりました。

④その他

化成品部門は、医療機器用部品およびデジタルカメラ用部品の受注が堅調となり、前年比で増収・増益となりました。金型部門は、自動車用途では、自動車メーカーの品質不正問題やEV化シフトの遅れ、対米向け関税の影響などにより、依然として不透明な状況が続いていますが、2026年度に向けて案件の引き合いが増加してきており、回復の兆しが見えてきています。一方、事務機器用途では、開発案件の端境期にあることや、車載コネクタやスマートフォン向けホットランナーの需要が低調であり、厳しい状況が続きました。

この結果、売上高は前年同期比59百万円(4.0%)減収の1,426百万円となり、営業利益は47百万円減益の97百万円の損失となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

資産合計は前連結会計年度末に比べて2,174百万円増加の68,783百万円となりました。

流動資産は435百万円増加の25,487百万円となりましたが、これは売上債権が減少しましたが、現金及び預金が増加したことなどによります。

固定資産は1,739百万円増加の43,296百万円となりましたが、これは主として化学工業品事業における設備投資により有形固定資産が増加したことなどによります。

(負債)

負債合計は前連結会計年度末に比べて323百万円増加の19,472百万円となりました。

流動負債は298百万円増加の12,798百万円、固定負債は24百万円増加の6,674百万円となりました。これは、仕入債務や未払法人税等が減少しましたが、その他に含まれる設備投資に係る負債が増加したことなどによります。

(純資産)

純資産合計は前連結会計年度末に比べて1,850百万円増加し、49,311百万円となりました。これは、剰余金の配当による減少が794百万円、自己株式の取得などによる減少が477百万円ありましたが、親会社株主に帰属する中間純利益の計上による増加が2,730百万円あったことなどによります。

(キャッシュ・フローの状況)

当中間連結会計期間の営業活動によるキャッシュ・フローにつきましては、法人税等の支払などがありましたが、税金等調整前中間純利益や減価償却費の計上、売上債権の減少などにより4,929百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローにつきましては、固定資産の取得や定期預金の預入による支出などにより、2,891百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローにつきましては、自己株式の取得や配当金の支払などにより、1,444百万円の支出となりました。

この結果、当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べて559百万円増加の8,607百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当中間連結会計期間の業績および今後のAI関連向け先端半導体の需要増加等を勘案し、2025年5月15日に公表した通期の業績予想を修正いたしました。なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,065	9,625
受取手形及び売掛金	10,038	8,400
電子記録債権	533	421
商品及び製品	1,031	1,445
仕掛品	2,558	2,689
原材料及び貯蔵品	1,830	2,002
その他	1,000	909
貸倒引当金	△7	△7
流動資産合計	25,052	25,487
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,080	11,933
機械装置及び運搬具(純額)	6,989	6,695
土地	15,068	15,089
その他(純額)	2,637	4,338
有形固定資産合計	36,776	38,057
無形固定資産		
のれん	862	792
その他	211	194
無形固定資産合計	1,073	987
投資その他の資産	3,705	4,251
固定資産合計	41,556	43,296
資産合計	66,608	68,783

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年 3 月 31 日)	当中間連結会計期間 (2025年 9 月 30 日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,772	3,754
電子記録債務	1,276	2,080
短期借入金	321	229
未払法人税等	1,863	1,268
賞与引当金	815	911
その他	3,449	4,553
流動負債合計	12,499	12,798
固定負債		
長期借入金	150	120
退職給付に係る負債	4,088	4,006
資産除去債務	523	527
その他	1,887	2,020
固定負債合計	6,649	6,674
負債合計	19,148	19,472
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,673	6,673
資本剰余金	1,273	1,277
利益剰余金	35,846	37,783
自己株式	△28	△505
株主資本合計	43,765	45,229
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,329	1,731
繰延ヘッジ損益	△5	△29
土地再評価差額金	1,505	1,505
為替換算調整勘定	936	940
退職給付に係る調整累計額	△71	△67
その他の包括利益累計額合計	3,694	4,081
非支配株主持分	0	0
純資産合計	47,460	49,311
負債純資産合計	66,608	68,783

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年 4月 1日 至 2024年 9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年 4月 1日 至 2025年 9月30日)
売上高	21,060	22,528
売上原価	13,872	14,422
売上総利益	7,187	8,106
販売費及び一般管理費		
給料及び賃金	800	820
退職給付費用	76	72
賞与引当金繰入額	191	202
技術研究費	869	855
その他	2,256	2,383
販売費及び一般管理費合計	4,194	4,334
営業利益	2,992	3,771
営業外収益		
受取利息	1	8
受取配当金	37	54
固定資産賃貸料	148	152
その他	41	16
営業外収益合計	229	232
営業外費用		
支払利息	13	2
固定資産賃貸費用	32	31
その他	104	65
営業外費用合計	150	99
経常利益	3,071	3,904
特別利益		
固定資産売却益	0	2
投資有価証券売却益	16	—
特別利益合計	17	2
特別損失		
固定資産処分損	38	81
減損損失	0	0
特別損失合計	38	81
税金等調整前中間純利益	3,050	3,825
法人税、住民税及び事業税	974	1,063
法人税等調整額	△19	31
法人税等合計	954	1,095
中間純利益	2,095	2,730
非支配株主に帰属する中間純利益	0	0
親会社株主に帰属する中間純利益	2,095	2,730

中間連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	2,095	2,730
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△45	402
繰延ヘッジ損益	7	△23
為替換算調整勘定	199	4
退職給付に係る調整額	3	4
その他の包括利益合計	165	387
中間包括利益	2,260	3,118
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	2,260	3,118
非支配株主に係る中間包括利益	0	△0

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	3,050	3,825
減価償却費	1,604	1,576
のれん償却額	70	70
減損損失	0	0
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	△0
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△59	△71
受取利息及び受取配当金	△39	△63
支払利息	13	2
為替差損益(△は益)	36	2
固定資産売却損益(△は益)	△0	△2
固定資産処分損益(△は益)	38	81
投資有価証券売却損益(△は益)	△16	—
売上債権の増減額(△は増加)	△774	1,760
棚卸資産の増減額(△は増加)	205	△723
仕入債務の増減額(△は減少)	704	△209
その他	△413	195
小計	4,420	6,444
利息及び配当金の受取額	39	63
利息の支払額	△13	△2
補助金の受取額	30	30
法人税等の支払額	△244	△1,605
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,231	4,929
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△2,193	△1,838
有形及び無形固定資産の売却による収入	0	2
有形固定資産の除却による支出	△15	△52
投資有価証券の取得による支出	△3	△3
投資有価証券の売却による収入	27	—
定期預金の預入による支出	△17	△1,017
定期預金の払戻による収入	17	17
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,184	△2,891
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△78	△98
長期借入金の返済による支出	△30	△30
自己株式の取得による支出	△0	△500
配当金の支払額	△621	△790
リース債務の返済による支出	△25	△24
財務活動によるキャッシュ・フロー	△756	△1,444
現金及び現金同等物に係る換算差額	17	△35
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,309	559
現金及び現金同等物の期首残高	8,245	8,048
現金及び現金同等物の中間期末残高	9,555	8,607

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

原価差異の繰延処理

定期的な修繕が特定の間中期に行われるために発生する原価差異は、予定原価が年間を基礎に設定されており、原価計算期間末までに解消が見込まれるため、当該原価差異を繰り延べて処理する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	研磨材 事業	化学 工業品 事業	生活衣料 事業	計				
売上高								
顧客との契約から 生じる収益	9,209	6,820	3,544	19,574	1,485	21,060	—	21,060
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	9,209	6,820	3,544	19,574	1,485	21,060	—	21,060
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	—	—	0	—	0	△0	—
計	9,209	6,820	3,544	19,574	1,485	21,060	△0	21,060
セグメント利益又は損 失(△)	2,125	595	321	3,042	△50	2,992	△0	2,992

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車関連事業及び化成成品事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額には、セグメント間取引消去が含まれております。

3 セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	研磨材 事業	化学 工業品 事業	生活衣料 事業	計				
売上高								
顧客との契約から 生じる収益	10,744	7,212	3,146	21,102	1,426	22,528	—	22,528
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	10,744	7,212	3,146	21,102	1,426	22,528	—	22,528
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	—	1	1	—	1	△1	—
計	10,744	7,212	3,147	21,103	1,426	22,530	△1	22,528
セグメント利益又は損 失(△)	2,918	726	223	3,869	△97	3,771	0	3,771

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車関連事業及び化成成品事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額には、セグメント間取引消去が含まれております。

3 セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。